全地連「技術フォーラム2025」山形技術発表会を終えて

(一社)東北地質調査業協会　技術委員長　三浦　正人

◆はじめに

全地連「技術フォーラム2025」山形での技術発表会は、防災・減災を担う地質調査業 ～阪神・淡路大震災から30年～」をテーマとして、令和７年９月11日、12日の２日間にわたり、山形テルサで行われました。

全地連技術フォーラムは、主に若手技術者の論文発表や交流の場となっており、全国から多くの方が参加されるもので、今回も多数の方の参加により盛況に開催されました。

開催にあたり全地連や実行委員の皆様には１年以上前から事前準備を行っていただき、当日もスタッフの方々に多大なご協力をいただき無事に終えることが出来ました。この場をかりて深く感謝の意を表します。

◆技術発表会

技術発表会は、全５会場を全地連８名、東北地質調査業協会技術委員13名のほか、広報委員１名、山形県会員企業12名のご協力をいただき計26名のスタッフが司会・タイムキーパー・会場係等の役割分担をして進められました。

技術発表会のセッションは、「特別セッション」、「地質リスク事例研究セッション」、「AI・深層学習セッション」、「洋上風力・海上調査セッション」、「盛土（特定盛土・大規模盛土・宅地盛土・道路盛土）セッション」、「InSAR・UAV・LiDARセッション」、「３次元地盤モデルセッション」、「自動化セッション」「のり面・斜面セッション」、「地すべりセッション」、「土壌汚染・地下水調査セッション」、「技術員会セッション」、「観測・モニタリングセッション」、「軟弱地盤調査セッション」、「原位置試験セッション」、「現場調査技術セッション」、「土壌地下水汚染セッション」、「室内試験セッション」、「岩盤調査セッション」、「地盤の安定化セッション」「新領域セッション」、「空洞調査・地中障害物調査セッション」に区分されました。

特別セッションは、フォーラムのテーマである防災・減災を担う地質調査業に関連する内容で、「ここ数年の東北地方での災害とその対応について」として、山形大学学術研究院 教授 本山 功 様の基調講演をはじめ他３編の災害事例の論文発表でした。

他のセッションは、全国から集まった若手技術者を主体とした論文発表で、上記した区分のとおり、多様な内容のものでした。発表の多くが、発表資料もわかりやすく上手にまとまっていると感じるものであり、発表も落ち着いている方が多く、プレゼンテーション能力の高い発表が多かった思います。これは、本番に向けての論文や発表資料の査読、発表練習等を十分に行ってきたことが伺われます。

技術発表会場

質疑応答

展示会場

東北地質調査業協会の展示

展示団体ショートプレゼンテーション

◆展示会

展示会場は、全23団体がブースでの展示を行いました。各団体とも前日から展示物を搬入し、フォーラム開始までに準備を行いました。フォーラムの参加者は聴講の合間に展示ブースを訪れ、各ブースの説明を受ける方々がいらっしゃいました。各団体とも最新技術の展示が多く大変参考になるもので、技術発表と関連する技術のものもあり、ブースでの説明で詳細を再確認することができました。

東北地質調査業協会では、フォーラムのテーマである防災・減災を担う地質調査業を受けて、東北地方の地盤災害事例のパネルの掲示のほか、協会の活動内容のパネル、東北地方に分布する地質図とその採取地のパネルを掲示するとともに、その土質地質サンプルを展示しました。さらに、山形県のご協力をいただき、里の名水・山形百選ということで山形県内の地質・水質の関連をパネル掲示し、そのパンフレットを展示しました。

また、展示団体のショートプレゼンテーションの時間も設けられており、11の展示団体がプレゼンテーションを行いました。

◆優秀技術発表者賞

全地連技術フォーラム山形が終了し、後日、全地連から下表の方々が優秀技術発表者として24名（内 東北７名）の方が受賞されました。おめでとうございます。

全地連「技術フォーラム2025」山形　優秀技術発表者一覧

セッション／発表時間	論文番号	発表者氏名	所属機関名	地区	題　　目
A1：【東北地方等での災害と対応】特別セッション	CM01	澤部 孝一郎	国土防災技術株式会社	東北	受け盤構造を有した斜面で発生した崩壊の発生機構と対策事例
A2：地質リスク事例研究セッション	GR05	廣川 開	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング	関東	大規模盛土の地盤安定性評価における地質調査の重要性
A3：AI・深層学習	CM06	彦坂 千温	中央開発株式会社	関西	関西地質調査業協会「AIと地質プロジェクト」についてのご紹介
A4：洋上風力・海上調査	CM11	稲吉 隆太郎	川崎地質株式会社	関東	DTH-SPTのN値評価と課題の解決策
A5：盛土(特定盛土・大規模盛土・宅地盛土・道路盛土)	CM14	原田 あゆ子	国際航業株式会社	九州	山砂利層分布域における谷埋め盛土の調査解析事例
B1：InSAR・UAV・LiDAR	CM20	後藤 慧	中央開発株式会社	関東	UAV測量を活用した河床露頭の岩盤割れ目抽出方法
B2：3次元地盤モデル	CM26	梅澤 愛奈	日本物理探鑛株式会社	関東	護岸工事のための地質調査に伴う3次元モデルの作成事例
B3：自動化	CM34	丸山 哲弥	株式会社ドーコン	北海道	斜面点検におけるウェアラブルデバイスの活用事例
B4：のり面・斜面	CM38	堀 隼風	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	東北	オーバーハングを有する岩盤斜面における調査及び対策工検討事例
B5：地すべり	CM41	海老根 拓也	国土防災技術株式会社	東北	荒砥沢地すべりにおけるこれまでの取組と現状について
C1：土壌汚染・地下水調査1	CM50	星比久 雄斗	株式会社エイト日本技術開発	中国	アルカリ質トンネル湧水の放流条件の検討
C2：地下水調査2	CM59	沖野 孝行	株式会社エイト日本技術開発	関西	融雪量を考慮した実効雨量解析による工事影響評価
C3：技術委員会セッション	—	—	—	—	—
C4：観測・モニタリング	CM64	松永 昌	大日本ダイヤコンサルタント株式会社東北支社	東北	軟弱地盤上で実施した道路盛土の試験施工結果に関する一考察
C5：軟弱地盤調査	CM72	大地 笑	株式会社エイト日本技術開発	中部	矢作川沖積低地の地層年代を考慮した地盤特性評価
D1：原位置試験	CM80	今野 淳	興亜開発株式会社	関東	低流速帯におけるペーパーディスク型流向流速計の適用について
D2-4：機器開発技術セッション	FE04	八重樫 勇伍	中央開発株式会社	東北	ダムにおける"Nノナー"調査事例
	FE10	石澤 陸戯	株式会社高田地研	東北	河川改修工における発生土利用の事例
	FE19	新橋田 旅明	国土防災技術株式会社	東北	開発した軽量ボーリングマシンによる狭小空間での地質調査事例
D5：土壌地下水汚染	CM84	平川 飛樹	興亜開発株式会社	関東	地下水汚染の揚水対策における揚水位置の選定について
E1：室内試験	CM87	青木 大和	中央開発株式会社	関東	応力解放による粘着力の過小評価と陸島三軸試験による再評価事例
E2：岩盤調査	CM95	福田 康太	日本物理探鑛株式会社	関東	浅部における風化花崗岩の速度構造に関する事例紹介
E3：地盤の安定化	CM102	五石 年也	大日本ダイヤコンサルタント株式会社	関東	Air-dec工法による残存空気の確認調査事例(その2)
E4：新領域	CM108	山本 翼樹	株式会社　地質総合コンサルタント	北海道	陸域CO_2固定技術の開発:その1休廃止鉱山CCUS
E5：空洞調査・地中障害物調査	CM116	沼田 俊輔	株式会社　東京ソイルリサーチ	関東	杭撤去に伴う地盤物性の経年変化に関する調査事例

◆おわりに

当フォーラムの開催に当り、全国地質調査業連合会の関係者には細部にわたりご指導をいただくとともに、東北地質調査業協会会員企業の方々には運営に多大なご協力をいただきました。関係各位には重ねてお礼申し上げます。